

浅草の灯 (1937)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 104分

初公開日 1937/12/02

【解説】

浜本浩の同名小説を池田忠雄が脚色し島津保次郎が監督した。監督デビュー前の吉村公三郎が編集としてスタッフに名を連ねている。主演の高峰三枝子は劇中で歌うシーンが注目され、翌年に歌手デビューを果たした。1956年に田中重雄監督が、1964年には斎藤武市監督が「浅草の灯 踊子物語」として再映画化している。

戦前の浅草。麗子はオペレッタ劇場〈日本座〉の売れっ子コーラスガールだった。資金難に陥った劇場主の女座長は、成金に麗子を売り飛ばして金を得ようと企んでいた。しかし座員たちは、麗子と恋に落ちる画学生を巻き込んで、座長の野望を阻止。怒った座長は劇団を潰そうとするのだった。

【クレジット】

監督 島津保次郎

原作 浜本浩

脚本 池田忠雄

撮影 生方敏夫

編集 吉村公三郎

出演 上原謙

高峰三枝子

夏川大二郎

西村青児

坪内美子

藤原か弥子

徳大寺伸

河村黎吉

岡村文子

斎藤達雄

武田秀郎

笠智衆

磯野秋雄

赤城正太郎

日守新一

近衛敏明

山内光

伊東光一

小林十九二

八雲恵美子

河原侃二

杉村春子